

(本リリースは、2018年8月1日に Gemalto(本社:アムステルダム)で発表されたニュースリリースの抄訳です。)

Gemalto 社と Entrust Datacard、IoT 関連のセキュリティの採用を促進するために業務提携を拡張

デジタルセキュリティ分野のリーダー企業である Gemalto と、信頼できるアイデンティティとセキュアなトランザクションテクノロジーソリューションを提供するリーディングカンパニーである Entrust Datacard は、インターネットに接続されているデバイス向けのセキュリティフレームワークを包含するために、両者の長期にわたる提携関係を拡張することを発表しました。このような両社の協働と統合の拡張により、顧客は、Entrust Datacard の [IoTrust™ Security Solution](#) と Gemalto の [SafeNet Data Protection On Demand](#) を組み合わせて活用することで、IoT インフラストラクチャ全体で信頼できるアイデンティティの確立と保護が行えるようになるほか、デジタルビジネスプロジェクトをさらに前進させることが可能となります。

最近 Gemalto が行った [IoT セキュリティ関連の調査](#)によれば、消費者の 90%が IoT デバイスのセキュリティを信頼しておらず、IoT デバイスを構築する際に「セキュアバイデザイン(セキュリティに配慮した設計)」型のアプローチを採用している企業は全体のわずか半数であることが分かりました。また、同調査によれば、半数を超える消費者が、自分の所有している IoT デバイスがハッカーにより制御され、接続されているオブジェクトが原因で自分のデータが盗まれるかもしれないことを最も心配していることも分かりました。セキュリティリスクと「セキュアバイデザイン」に関するニーズの高まりに基づいて、Gemalto や Entrust Datacard のような企業は、互いに協力し合うことで、IoT デバイスの保護をできるだけ簡単かつ効率的なものへと変革しています。

この提携は、アイデンティティ管理とデータ保護を実現するための統合されたクラウドベースのソリューションを使用することで、IoT 製品およびサービスのセキュリティを構築および維持するプロセスを簡素化しようとする業界のニーズに応えるものです。Entrust Datacard の IoTrust Security Solution を採用している顧客は、製造の初期段階から運

用ライフサイクル全体を通して IoT デバイスを特定することや、IoT インフラストラクチャ内におけるデータを保護することが可能となります。一方、Gemalto の SafeNet Data Protection On Demand を使うと、企業や組織は、クラウドベースのハードウェアセキュリティモジュールや広範な種類のクラウドベースの暗号化、鍵のブローカリングや鍵のポータルサービスを通じて IoT デバイスの ID とデータを保護できるようになります。また、企業や組織は、オンプレミスバージョンの SafeNet セキュリティモジュール、鍵管理およびデータ暗号化製品、および Entrust Datacard の IoT Trust Security Solution を配備することも選択できます。

Entrust Datacard の Office of the CTO バイスプレジデント兼 IoT 部門ゼネラルマネジャーである Josh Jabs は次のように話しています。「いまだに多くの企業や組織は、IoT プロジェクトにセキュリティを組み込むために、そしてイノベティブなサービスとより効率的な運用を実現するというより広範な IoT 目標に遅れずについて行くために懸命な努力を行っています。当社は長年にわたってこの業界で仕事を続けることで成熟したベストプラクティスや標準を提供していると同時に、これらの経験を当社のソリューションに取り込んでいます。IoT を包含するために当社と Gemalto との長期にわたる提携関係を拡張することには大きな意味があり、我々は今後協力し合って、IoT セキュリティの不可欠な要素をより採用しやすいものへと変えていくつもりです」。

Gemalto の暗号化製品部門のシニアバイスプレジデントである Todd Moore 氏は次のように述べています。「現在、多くのセキュリティプロバイダーが団結することで IoT エコシステム全体でのソリューションの統合やセキュリティの採用を実現しようとしていることを、当社は喜んでます。当社と Entrust Datacard との強固な提携関係を、IoT の保護という新しい時代へと移行させています。新しい時代において、暗号化、ID 発行、アクセス管理は、それぞれ独立したコンポーネントではなく、1 つのフルスタックソリューションとなります。つまり、セキュリティはソリューションに組み込まれたものとなり、もはや後で考える課題ではなくなります。セキュリティは目には見えなくなり、単に発生するものとなります」。

関連リソース

- ファクトシート: [Entrust Datacard IoT Trust™ Security Solution](#) のファクトシート
- ソリューションブリーフ: [SafeNet Data Protection On Demand](#)

- [ビデオ: Entrust Datacard IoTrust™ Security Solution](#)
- [ビデオ: SafeNet Data Protection On Demand](#)

Gemalto について

Gemalto (Euronext NL0000400653 GTO) は、[デジタルセキュリティ](#)分野における世界的なリーダー企業であり、2017 年の年間収益は 30 億ユーロであり、世界中の 180 ヶ国を超える国々に顧客を抱えています。同社は、ますます加速し続けるコネクテッド環境に信頼を提供しています。

セキュアソフトウェアから生体認証や暗号化に至るまで、同社のテクノロジーとサービスは、一般企業や政府機関による ID 認証とデータ保護を可能にしており、安全な状態を維持したままで、個人所有デバイス、接続されているオブジェクト、クラウド、およびそれらの間におけるサービスを実現できるようにしています。

Gemalto のソリューションは、支払いから企業セキュリティや IoT に至るまで、現代生活の中心部に位置しています。ユーザー、トランザクション、オブジェクトの認証、データの暗号化、ソフトウェア価値の創出を行うことで、数十億もの個人やモノに対してセキュアなデジタルサービスを提供できるようにしています。

同社には 15,000 名を超える従業員がおり、世界の 47 ヶ国に 114 ヶ所のオフィスがあります。また、40 ヶ所のパーソナライゼーションおよびデータセンターと 35 ヶ所の研究およびソフトウェア開発センターを運営しています。